

施工上の注意点

大切なのは高い品質を確保することです。
徹底した技術研修を得た技術者による工事は、行き届いた下準備に支えられています。

施工上の注意

高い品質を得るためには、何よりも吹付けを行うための下準備が必要です。

この段階での、入念なチェックは欠かせません。

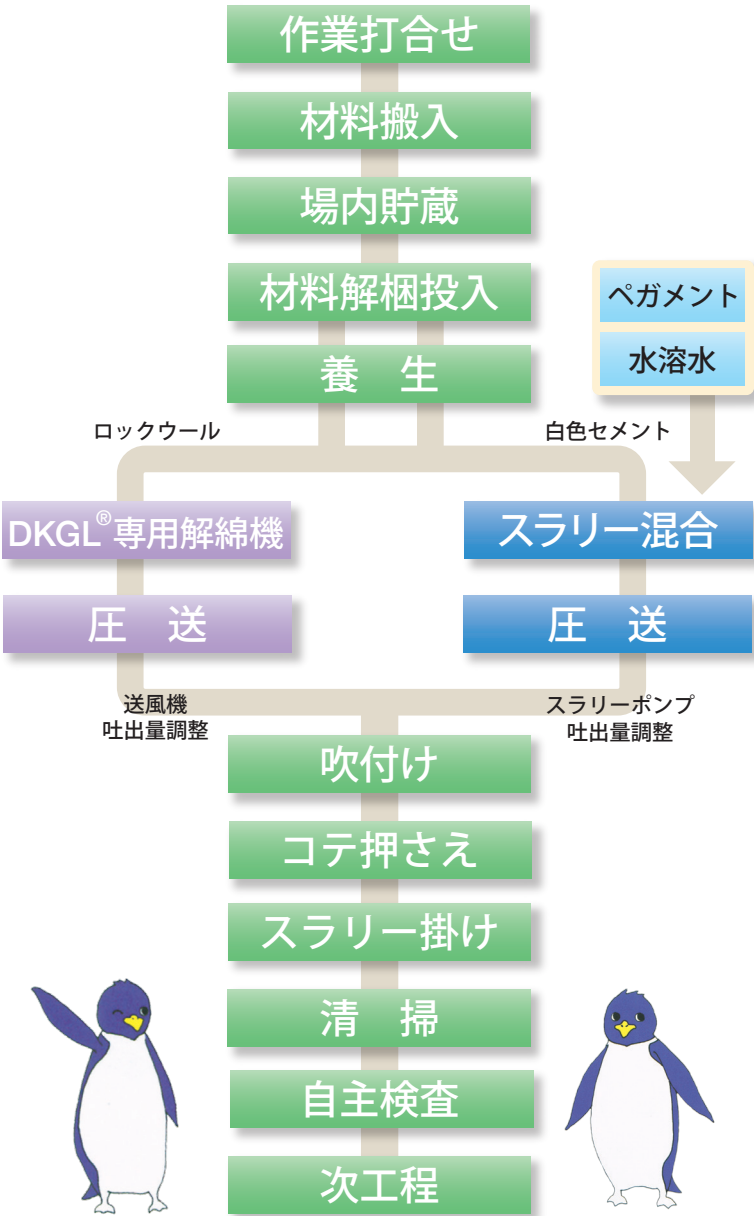
吹付け面積と材料の必要量の算出は無駄のない施工の基本です。

吹付けを行う場所ならびに周囲環境の点検から、下地の状況チェック、先行工事の完了の確認などを確実にを行います。

作業中は立入禁止となりますが、乾燥までの間も吹付け面に対しては十分な注意が必要です。

施工は吹付けの厚さ検査後、後片付けをもって終了となります。

工法のフローチャート



① 施工前に

Check!!

- 水および動力源 (50A 3相200V/台) の無償貸与をお願いします。
- 吹付け機械および材料の設置場所を確保してください。
- 下地の油・浮きサビ・及び、ほこり等は除去してください。

② 前工程の確認

Check!!

- サッシまわりのトロ詰めや、窓枠まわりの防水モルタルの施工を確認してください。特にサッシまわりは入念をお願いします。
- 施工部位の額縁、桟木等の先行工事が完了していることを確認してください。
- 施工部位 (カベから2M以内) には事前に資材等の移動をお願いします。

③ 施工中の注意

Check!!

- 吹付け作業中は粉塵飛散防止のため、立入禁止措置をお願いします。

④ 施工後の注意

Check!!

- 施工面に物をぶつけないよう、連絡指示の徹底をお願いします。
- 開口部等からの雨水の侵入には十分注意してください。
- 十分な強度確保のため、吹付け後最低 1 週間前後は乾燥養生を必要とします。

材 料	ロックウール	白色セメント	ペガメント (外比)
配 合	70 (±5) %	30 (±5) %	2.5 (±0.5) %

材 料	ロックウール	ペガメント混入セメントスラリー
噴出量	3.5kg/min	4.5kg/min